



# 馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクトの完成 ～民間主体の公共空間整備～

前橋市 市街地整備課

## ■「前橋市アーバンデザイン」

前橋市アーバンデザインは長期的まちづくりビジョンの共有を念頭に、官民協働で策定されました。これまでのまちづくりではハード整備が計画の中心になりがちでしたが、前橋市アーバンデザインでは民間による公共空間の利活用などソフト事業によるまちづくりを重視した構成になっています。

この中で、中心市街地の主要な拠点やエリアをつなぐ高い効果が期待できるプロジェクト例として4つのモデルプロジェクトが示され、その中の一つに馬場川通りが挙げられています。

## ■「馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクト」

馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクト(以降本事業)の整備箇所は前橋プラザ元気21から中央通り商店街までの約200m。幅員は約12mで、この中に道路、遊歩道公園、準用河川が含まれています。整備前の馬場川通りは車道と遊歩道が縁石により分断され、河川は大きな柵や蓋などにより川の流れが見えにくい状況でした。今回の整備では車道と遊歩道をフラットな空間として一体的に整備するとともに、川側にデッキを張り出し、遊歩道との境にベンチを設置することで滞留空間の確保を行いました。また、視認性を阻害していた柵にテーブル機能をもたせ、さらに階段状のデッキを設置することにより川を身近に感じる工夫をするなどして、親水性を向上させることができました。

整備を担ったのは都市再生推進法人(一社)前橋デザインコミッション(以降MDC)です。MDCは前橋市アーバンデザインの実現に向け設立された民間まちづくり団体で、本事業では説明会やワークショップの実施、社会実験を通して新たなまちの使い方を実践するなど、沿道地権者や沿道店舗などの関係者と一緒に取り組み工夫を行いながら整備後のソフト事業を見据え整備方針を取りまとめました。



整備が完了した馬場川通り



デッキによる滞留空間



馬場川通り 夜景

## ■「馬場川通りを良くする会」

こうした取り組みを重ねていく中でまちづくり人材が育つことにより、学生や若い世代を中心に「馬場川通り準備委員会」が発足し、通りを活用した社会実験(馬場川パーク)では自ら企画したさまざまな取り組みを実施しました。さらにこのような取り組みが深化し、「馬場川通り準備委員会」と沿道の商店街組合である「馬場川通り親交会」が合流し、「馬場川通りを良くする会」が組成され、現在ではこれまでの商店街組合での活動の他に、新たなまちづくり人材による企画、高質化整備された通りのごみ拾いや落葉清掃などの日常的な管理などのエリアマネジメント活動を実施しています。

4月のまちびらき後も毎月の小さな企画として「ボードゲーム大会」や前橋産バラの販売会「Poppin Rose Market」が定着化されつつあります。また、5月からは維持管理活動の一環としてごみ拾いを行い、その後コーヒーを飲みながら参加者がゆるくつながる「CCC (Cleanup & Coffee Club)@前橋馬場川」も始まり、ハード整備で終わらないソフト事業も一体となった民間が主体のまちづくりが進められています。馬場川通りの活動に興味のある方はMDCまでお問い合わせください。

### 馬場川通りの活動に興味のある方はこちらまで

①「MDC」の活動について知る

**MDC**  
Maebashi Design Commission



②馬場川通りのイベントに「実行委員」として参加する

毎月の小さな企画や年数回の大きなイベントを開催。実行委員として参加しませんか。

